





FFGグループ内で活躍する実業団や
社会人チーム、部活動、個人スポーツ
活動を紹介するコーナーです

十八親和銀行

DAIGO USUKI

白木大悟

「パラを目指す新星スプリンター」

2023年6月4～10日、フランス中部のヴィシーで世界約80カ国から知的障がいのあるアスリートが集った国際大会「Virtusグローバルゲームズ」が開催され、白木大悟選手が陸上男子100m、200mで2冠を達成した。今年、十八親和銀行に入行し、パラリンピックを目指す19歳、その素顔に迫る。



初めての国際大会で 短距離2冠を達成！

今年6月、フランス中部のヴィシー^{ウーテクス}で開催された国際大会「Virtus グローバルゲームズ」に白木大悟選手は日本代表として出場した。4年に一度開催される本大会は、国際知的障がい者スポーツ連盟（Virtus）が運営するパラリンピックに次ぐ権威ある国際競技大会だ。

白木選手にとっては初めての国際大会だった。緊張しながらスタート地点に立ち、陸上男子100m決勝は10秒98でトップゴール。続く200m決勝。強い向かい風が吹く中、ライバルのオリベイラ選手（ポルトガル）が先行していたが、ラストの直線、オリベイラ選手を0秒04差で制した。

こうして、白木選手は自身初の国際大会で陸上男子100m、200mの2冠を手にした。



小4で陸上に出会う 高校で短距離3冠王

もともと、幼稚園児の頃から抜きんでて足の速い子どもだった。陸上を本格的に始めたのは小学4年の時。友達から誘われて諫早の陸上クラブに加入し競技を始めた。

「小学生の頃は短距離だけでなく、長距離や走り幅跳びなど様々な陸上種目を体験しました。陸上の中では短距離が一番楽しかったです」



中学2年生でジュニアオリンピックの長崎県代表として全国の舞台に立つなど華々しい活躍をした。

高校時代はコロナ禍の真只中。高校2年生の長崎県高総体では100m10秒77、200m21秒54の自己ベストを更新。

高校最後に全国高校総体（インターハイ）に出場して優勝することを目標にしていたが、長崎県高総体の前に左足のくるぶしを疲労骨折。県内の特別支援学校初インターハイスプリントー誕生の夢は叶わなかった。

しかしながら高校最後に栃木県で開催された秋の全国障がい者スポーツ大会では100m、200m、4×100mリレーの「短距離3冠」を達成し、高校生活を有終の美で飾った。

「大会ではいつも応援に駆けつけてくれた父、母、祖父母ら家族の存在が心強かったです」

陸上を続けたい！ 十八親和銀行に入行

高校で進路を決める際、女子陸上部を保有している十八親和銀行は、「地元企業に就業しながら陸上

を続けられる環境」という白木選手
の希望に合致していた。面接を重ね
内定。

2023年4月から十八親和銀行
事務IT部に所属し、諫早市から長
崎市へJRで通勤する。仕事は口座
振替依頼書の処理などをパソコンで
行う。

「職場のみなさんも陸上を応援して
くれるので、仕事がしやすいです」

白木選手が国際大会で金メダルを
とったときは、帰国後に職場に顔を出
すとみんなが拍手で出迎えて撮影大
会になったという。優勝お祝いの飾り
付けも上からの指示ではなく、誰とも
なしに飾り付けを始めたというから、
職場の雰囲気良さが伝わってくる。

勤務後に諫早で約1時間の陸上練
習がルーティン。休日は4時間の練習
を行う。

陸上は記録を出したときが一番嬉しい。



DAIGO USUKI

2004年7月6日生まれ、19歳。長崎県諫早市出身・在住。2023年4月、十八親和銀行入行。北諫早中、希望が丘高等特別支援学校卒。身長184cm。KAC(諫早市社会人陸上クラブ)所属。

- 自己ベスト：100m10秒73、200m21秒54
- 日本ID記録保持者：100m10秒73、200m21秒81



白木選手が働く十八親和銀行 事務IT部を訪問
爽やかな笑顔の白木選手



十八親和銀行 事務IT部の皆さんと一緒に
前列左2人目から松田センター長、白木選手、本山主任調査役

「学生時代と違い、練習時間が限られているので、その中でどんな練習をするかを自分で考えなければなりません。出場する大会も去年までは地元開催の大会が中心でしたが、今年は遠征を増やし、いつもと違った環境でもベストを出せるように環境を慣らしています」

パラリンピック出場を 目指し400mに挑戦

オリンピックの花形種目といわれる陸上100mだが、パラリンピックでは知的障がいのある陸上100m、200mは種目がない(障がいによっても異なり、車いす、義足などは100m、200mの種目を設けている)。白木選手はパラリンピックで唯一の短距離400mに出場するために、今は400mの練習もこなす。パラリンピックの出場権を得るためには、大会で結果を残し、ランキングで上位に入らなければならない。「100m、200mの走り方はほぼ一緒。ただし、200mは後半の方が

スピードが落ちやすい。400mは今までの走り方と全く違う。もともとスタミナをつけなければなりません」

ちなみに、陸上の走法は大きく分けて「スライド走法」と「ピッチ走法」がある。「スライド走法」は全身の筋肉をバネのように使って歩幅を大きくして走る方法で、足の長い外国人ランナーに多い走り方だ。対する「ピッチ走法」は日本人向きの走法で、歩幅を小さくして回転を速くする走法となる。

身長184cmで手足の長い白木選手は日本人では少ないスライド走法の選手だ。長い手足とスピードが持ち味でスタミナをつければ400mも戦えるポテンシャルを秘めている。

国際大会で2冠を達成してからは、日本陸上競技連盟からの依頼で陸上普及のイベントなどに呼ばれることも多くなった。

「陸上を通していろんな経験ができません。陸上は記録を出したときが一番嬉しい。これからも自己ベスト更新とパラリンピック出場に向けて400mも頑張っていきたいです」



2023年7月20日に開催したFFG表彰式の様子
FFG 五島社長から表彰状が渡された



国際大会での優勝を十八親和銀行山川頭取に報告
役員・部長陣も交えて大会当日の様子を座談会で語った



DAIGO USUKI PLAYER FILE

Q 1 好きな食べ物は？

肉! 頑張ったご褒美に焼肉を食べます!

Q 2 嫌いな食べ物は？

エビ、カニ

Q 3 尊敬している人は？

陸上クラブの先輩たち

Q 4 好きな音楽は？

ONE OK ROCK

Q 5 好きなものは？

シューズ! 試合ではナイキとアシックスを愛用しています

Q 6 好きな色は？

青色

Q 7 陸上以外で好きなスポーツは？

野球が好きです。福岡ソフトバンクホークスのファンです。PayPayドームまでなかなか観に行けませんが長崎で試合があるときは観に行きます!

Q 8 もらって嬉しい声援は？

「ファイト!」です。名前を呼ばれるのも嬉しいです

Q 9 好きな言葉は？

そう し そう あい

走思走愛

陸上が大好きです!



NEWS!

今年7月、100mの自己ベストと日本ID記録を更新。また、10月28日～30日に開催された「燃ゆる感動かごしま国体(特別全国障がい者スポーツ大会)」にて、100m、200m、4×100mリレーで2年連続「短距離3冠」を達成。国際大会2冠後も快進撃を続けている。2023年11月、長崎県 特別功労賞を受賞。